

日体施事発6号

平成31年4月25日

都道府県体育施設協会長  
特 別 会 員 殿  
関 係 者

公益財団法人 日本体育施設協会  
会 長 大 東 和 美  
(会長印省略)

独立行政法人 日本スポーツ振興センター  
理 事 長 大 東 和 美  
(理事長印省略)

### 第53回公認トレーニング指導士養成講習会の開催について

今般、別紙要項により標記講習会を開催いたします。

つきましては、受講参加者に格別のお取り計らいをいただきますようお願い申し上げます。

## 第53回公認トレーニング指導士養成講習会開催要項

1. 趣 旨 2020年のオリンピック・パラリンピック東京開催に向けて、今後スポーツや健康に対する国民の関心はますます高まることが予想されます。本協会では、これらのニーズに応えるため、公共・民間施設においてスポーツ指導に携わっている方、また、これから指導者を目指す方を対象に、スポーツ施設に求められているリスク管理、スポーツの法的責任などの施設管理運営面、そしてスポーツ科学・医学、栄養学等の理論と、対象や目的に応じた実技指導を通して、施設管理者・指導者としての資質向上と人材育成を目的としています。
2. 主 催 公益財団法人 日本体育施設協会、独立行政法人 日本スポーツ振興センター
3. 後 援 スポーツ庁 (予定)
4. 期 日 2019年7月29日 (月)～8月1日 (木)  
2019年8月2日 (金) 資格認定試験 (7～8ページ参照)  
スポーツ救急手当講習プロバイダー【熱中症・感染防止 (環境障害)】コース (希望者のみ9～11ページ参照)
5. 会 場 国立スポーツ科学センター (研修室、ハイパフォーマンスジム、陸上競技実験場)  
東京都北区西が丘3-15-1  
(都営地下鉄三田線 本蓮沼駅下車徒歩10分、JR 埼京線・京浜東北線・宇都宮線・高崎線 赤羽駅下車→赤羽駅西口よりバス15分 ①4番乗車「池袋」行き・「日大病院」行き→国立西が丘競技場北門下車徒歩5分 ②5番乗車「トンネル経由赤羽車庫」行き→国立西が丘競技場下車徒歩3分)
6. 受講条件 (1) 2019年7月29日現在満20歳以上の健康な男女  
(2) スポーツ施設等で指導している方、あるいは指導者を目指している方。
7. 定 員 100名
8. 内 容 別表(1)のとおり
9. 日 程 別表(2)のとおり
10. 受講料 講習会会員及び学生：28,000円、一般：36,000円  
※講習会会員とは、(公財)日本体育施設協会の「維持会員(47都道府県体育施設協会)」「特別会員」「賛助会員」及び、都道府県体育施設協会に加盟・加入している団体等に所属する職員・社員をいいます。
11. 申込期間 2019年6月3日(月)～6月10日(月) 午前中必着
12. 申込方法
  - (1) 必要な書類及び手続
    - ① 本協会ホームページ ([https://www2.jp-taiikushisetsu.jp/guidance/guidance\\_train](https://www2.jp-taiikushisetsu.jp/guidance/guidance_train)) よりお申込みください。講習会会員の方は、正規職員であることを証明するもの(健康保険証)をweb申込みの際に画像ファイルにて添付ください。証明するものがない場合は会員と認めません。また、学生の方は学生証を画像ファイルにて添付ください(画像ファイルは、判読可能であればjpg、bmp、tiff、pdf等種類は問いません。ファイルサイズは、2MB以下となるようにお願いいたします)。

- ② 定員を超えた場合は抽選とします（受講のみは認めません）。
- ③ 受講の可否についてはそれぞれ受講者にメールで通知いたします。※本協会からのメールが受信可能なメールアドレス(個人用)を申込者ごとにご用意ください。
- ④ 受講が決定した方は、経費を2019年6月18日（火）まで（必着）に下記へお振込みください。振込名が本人名義でない場合は事前にeメール（[mail@jp-taikushisetsu.or.jp](mailto:mail@jp-taikushisetsu.or.jp)）もしくはFAXにて必ずご連絡ください。受講番号は入金順となります。なお、棄権する場合は必ず本協会にご連絡ください。

**【振込先】**

銀行名：三井住友銀行【銀行コード 0009】

支店名：麴町（コウジマチ）支店【支店コード 218】

預金種別：普通預金

口座番号：2890859

口座名義：公益財団法人日本体育施設協会

口座名義カナ：コウエキザイダンホウジンニホンタイイクシセツキョウカイ

- ⑤ ④の手順によって受理した方には受講・受験証及び関係書類を送付いたします（納入された受講料は返金いたしません）。※関係書類等については、開催日の10日前を目途に送付いたします。

(2) 問い合わせ先

公益財団法人日本体育施設協会 事業部

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨2-7-14 巣鴨スポーツセンター別館3階

TEL 03-5972-1983 FAX 03-5972-4106

E-mail : [mail@jp-taikushisetsu.or.jp](mailto:mail@jp-taikushisetsu.or.jp)

13. その他

- (1) 資格認定試験を2019年8月2日（金）に実施いたします。
- (2) スポーツ救急手当プロバイダー及びインストラクター資格保有者（いずれも有効期限内に限る）は、2019年8月2日（金）の「スポーツ救急手当講習会基礎コース」の受講が免除となります。
- (3) 講習中の受講者の補償措置として「傷害保険」に加入し、契約の費用は本協会が負担します。
- (4) 筆記用具（資格認定試験は鉛筆、消しゴムを用意）、健康保険証、運動着、室内シューズ、スポーツタオル及び日用品等は各自持参してください。
- (5) 服装は自由です。
- (6) 講習期間中は毎朝、受講・受験証を受付に提出してください。
- (7) やむを得ない理由で実技を見学する場合は事前にご連絡ください。
- (8) 受講中の言動に関し、主催者及び会場施設等から問題指摘があり、改善がみられない場合は受講を辞退いただくことがあります。
- (9) 受講の申し込みにあたり提供いただく個人情報は、本講習会の運営・管理及び諸連絡に使用いたします。また、本協会は本講習会における受講管理の一部を業務委託します。業務委託にあたり、個人情報の取扱いは厳重に管理し、本協会の事業目的以外には使用せず、ご本人の同意無しに第三者に開示・提供することはありません。

- (10) 天災地変や伝染病の流行、講習会場・輸送等の機関のサービスの停止、官公庁の指示等の本協会が管理できない事由により、講習内容の一部変更及び中止のために生じた受講者の損害については、本協会ではその責任を負いかねます。
- (11) 本講習会中に撮影した写真等については、本協会ホームページや本協会月刊誌『月刊体育施設』において利用することがあります。
- (12) 宿泊施設は各自で対応してください。
- (13) 食事をご持参いただくか、もしくは近隣の食堂をご利用ください。施設内の喫茶室（2階）及びR 3（7階）は利用できません。
- (14) 本講習会に関する問い合わせ等は、本協会事業部（TEL 03-5972-1983、eメール：[mail@jp-taikushisetsu.or.jp](mailto:mail@jp-taikushisetsu.or.jp)）へお願いいたします。
- (15) 公認指導者制度により、資格の有効期限は4年間です。

## 講 習 内 容

別表(1)

科 目	時間 (分)	講 師
1 日本のスポーツの現状と課題		
(1) 生涯スポーツをとりまく社会環境	60	順天堂大学 特任教授 野川 春 夫
(2) 競技スポーツをとりまく社会環境	60	国立スポーツ科学センター 元センター長 川原 貴
2 トレーニングの理論		
(1) トレーニングの原理・原則／方法・内容	120	法政大学 スポーツ健康学部 学部長 平野 裕 一
(2) トレーニングの計画・評価	120	国立スポーツ科学センター スポーツ研究部 スポーツ研究課 研究員 池田 達 昭
3 スポーツとエネルギー		
(1) エネルギーの利用	60	国立スポーツ科学センター スポーツ研究部 スポーツ研究課 前任研究員 鈴木 康 弘
(2) エネルギーの補給	60	国立スポーツ科学センター スポーツメディカルセンター コンディショニング課 前任研究員 亀井 明 子
4 トレーニングと傷害予防・復帰		
(1) 安全管理と応急処置	60	国立スポーツ科学センター スポーツメディカルセンター スポーツクリニック 副主任研究員 中嶋 耕 平
(2) 内科	60	国立スポーツ科学センター スポーツメディカルセンター スポーツクリニック 副主任研究員 蒲原 一 之
(3) 外科	60	国立スポーツ科学センター 副センター長 奥脇 透
5 トレーニングの実践		
(1) 身体部位の軸	180	国立スポーツ科学センター スポーツメディカルセンター コンディショニング課 主幹 田村 尚 之
(2) 対象者の軸		
① 幼児・児童期、成長期のトレーニング	90	日本体育大学 名誉教授 関口 脩
② 肥満者・女性・高齢者のトレーニング	180	日本女子体育大学 体育学部 教授 沢井 史 穂
③ 障害者のトレーニング	90	国立障害者リハビリテーションセンター 運動療法士長 樋口 幸 治
6 スポーツ基本法と法的責任（法リスクの管理）	75	キーストーン法律事務所 代表弁護士 菅原 哲 朗
7 スポーツ救急手当講習会 基礎コース	60	(公財) 日本体育施設協会 講習会運営事務局
	合 計	22 時間 15 分
【希望者のみ】スポーツ救急手当講習会 プロバイダー【熱中症・感染防止（環境障害）】コース	240	別紙「スポーツ救急手当講習会開催について」参照

第53回トレーニング指導士養成講習会 日程表(2019年度)

別表(2)

時 日	8:40		9:00		10:00		11:00		12:00		13:00		14:00		15:00		16:00		17:00		18:00		会 場
7月29日(月) 1日目									受 付	開 講 式	生 涯 ス ポ ー ツ を と り ま く 社 会 環 境 12:00～13:00 (野川)	休 憩	競 技 ス ポ ー ツ を と り ま く 社 会 環 境 13:10～14:10 (川原)	休 憩	傷 害 予 防・ 復 帰 (外 科) 14:20～15:20 (奥脇)								国 立 ス ポ ー ツ 科 学 セ ン タ ー 研 修 室  (控室) 研 修 室 C
7月30日(火) 2日目			受 付	【実技】 トレーニングの実際 (肥満者と高齢者) 9:00～11:00 (沢井)	休 憩	【実技】 トレーニングの 実際(女性) 11:15～12:15 (沢井)	昼 食		ス ポ ー ツ 基 本 法 と 法 的 責 任 (法 リ ス ク の 管 理) 13:15～14:30 (菅原)	休 憩	傷 害 予 防・ 復 帰 (内 科) 14:40～15:40 (蒲原)	休 憩	エ ネ ル ギ ー の 補 給 15:50～16:50 (亀井)									午 前 : 陸 上 競 技 実 験 場 午 後 : 国 立 ス ポ ー ツ 科 学 セ ン タ ー 研 修 室  (控室) 研 修 室 C	
7月31日(水) 3日目			受 付	【実技】 トレーニングの実際 (身体部位の軸) 9:00～12:00 (田村)			昼 食		エ ネ ル ギ ー の 利 用 13:10～14:10 (鈴木)	休 憩	安 全 管 理 と 応 急 処 置 14:20～15:20 (中嶋)	休 憩	ト レ ー ニ ン グ の 計 画 ・ 評 価 15:30～17:30 (池田)									午 前 : ハイ パ ー フ ォ ー マ ン ス ジ ム 午 後 : 国 立 ス ポ ー ツ 科 学 セ ン タ ー 研 修 室  (控室) 研 修 室 C	
8月1日(木) 4日目			受 付	【実技】 トレーニングの実際 (幼児・児童期、成長期) 9:00～10:30 (関口)	休 憩	【実技】 トレーニングの実際 (障がい者) 10:45～12:15 (樋口)	昼 食		ト レ ー ニ ン グ の 原 理 ・ 原 則 ト レ ー ニ ン グ の 方 法 ・ 内 容 13:30～15:30 (平野)												午 前 : ハイ パ ー フ ォ ー マ ン ス ジ ム ・ 陸 上 競 技 実 験 場 午 後 : 国 立 ス ポ ー ツ 科 学 セ ン タ ー 研 修 室  (控室) 研 修 室 C		
8月2日(金) 5日目			受 付	事 務 連 絡		ス ポ ー ツ 救 急 手 当 講 習 会 (基 礎 コ ー ス) 10:45～11:45 (講習会運営事務局)	昼 食		ス ポ ー ツ 救 急 手 当 講 習 会 (希 望 者 の み) (ブ ロ ハ イ ダ ー 【 熱 中 症 ・ 感 染 防 止 (環 境 障 害 ) 】 コ ー ス) 12:45～16:45 (講習会運営事務局)												国 立 ス ポ ー ツ 科 学 セ ン タ ー 研 修 室  (控室) 研 修 室 C		

8:40 8:50

スポーツ救急手当講習会 基礎コース

別表(3)

プログラム

時間(分)	項 目	内 容	
5	オリエンテーション	救急手当法の必要性について	
		グループ分け	
15	デモンストレーション	傷病者発見	救急バッグ準備
			周囲の安全確認
			大出血の確認
			感染予防
		意識確認	呼びかけて反応（意識）確認
		応援要請	119番通報・AED依頼
		呼吸確認	胸、お腹の動きを確認 (10秒以内)
		CPR+人工呼吸	胸骨圧迫+人工呼吸の実施
		AED	AED到着後直ちに実施
		CPR&AED	AEDガイドンスに従い実施
救急隊到着	救急隊へ状況報告		
25	実技実習	CPR	2サイクル（30回×2回）
		AED	AED到着後直ちに実施
			電源を入れる
			胸部確認
			パッド貼付
			ショック（除細動） (胸部圧迫はAEDガイドンスに従ってAED実施中も続ける)
		CPRの再開	ショック後直ちに胸骨圧迫再開
15	感染防御	講義	感染防御の必要性
		実技	DVD

日体施事発第6-2号  
平成31年4月25日

都道府県体育施設協会長  
特 別 会 員 殿  
関 係 者

公益財団法人 日本体育施設協会  
会 長 大 東 和 美  
(会長印省略)

### 第53回公認トレーニング指導士資格認定試験の実施について

今般、下記要項により、標記資格認定試験を実施いたします。

つきましては、資格認定試験受験者に格別のお取り計らいをいただきますようお願い申し上げます。

#### 記

1. 主 催 公益財団法人日本体育施設協会
2. 日 時 2019年8月2日(金) 理論 9:00~10:30 (別表(2)参照)
3. 場 所 国立スポーツ科学センター(研修室)  
東京都北区西が丘3-15-1  
(都営地下鉄三田線 本蓮沼駅下車徒歩10分、JR 埼京線・京浜東北線・宇都宮線・高崎線 赤羽駅下車→赤羽駅西口よりバス15分(①4番乗車「池袋」行き・「日大病院」行き→国立西が丘競技場北門下車徒歩5分 ②5番乗車「トンネル経由赤羽車庫」行き→国立西が丘競技場下車徒歩3分)
4. 受験資格 公認トレーニング指導士養成講習会を修了した方
5. 定 員 100名
6. 資格認定試験科目
  - (1) 理 論 ①トレーニングの原理・原則 ⑥エネルギーの補給  
②トレーニングの方法・内容 ⑦安全管理と応急処置  
③トレーニングの計画 ⑧トレーニングと傷害予防・復帰(内科)  
④トレーニングの評価 ⑨トレーニングと傷害予防・復帰(外科)  
⑤エネルギーの利用 ⑩スポーツ基本法と法的責任(法リスク管理)
  - (2) 実 技 実技に臨む態度・意欲で評価いたします。

7. 資格認定受験料 講習会会員及び学生：10,000円、一般：15,000円  
※講習会会員とは、(公財)日本体育施設協会の「維持会員(47都道府県体育施設協会)」「特別会員」「賛助会員」及び、都道府県体育施設協会に加盟・加入している団体等に所属する職員・社員をいいます。講習会会員は正規職員であることを証明するもの(健康保険証)をweb申込みの際に添付してください。また、学生の方は学生証を画像ファイルにして添付してください。納入された受験料は返金いたしません。
8. 申込期間 開催要項11と同じ
9. 申込方法 開催要項12と同じ
10. 合格発表 資格認定試験終了後、資格認定委員会に諮り、約2ヶ月後に本人宛に合否を通知いたします。
11. 資格取得 資格認定試験に合格の上、資格認定登録料を納入された方に、資格認定証・資格認定カード及び公認指導者用ガイドブックを送付いたします。
12. その他 (1) 受験の申込にあたり提供いただく個人情報は、本講習会の運営・管理及び諸連絡に使用いたします。また、本協会は資格認定試験における受験管理の一部を業務委託します。業務委託にあたり、個人情報の取扱いには厳重に管理し、本協会の事業目的以外には使用せず、ご本人の同意無しに第三者に開示・提供することはありません。
- (2) 天災地変や伝染病の流行、講習会場・輸送等の機関のサービスの停止、官公庁の指示等の本協会が管理できない事由により、受験内容の一部変更及び中止のために生じた受験者の損害については、本協会ではその責任を負いかねます。
- (3) 資格認定試験、及び講習会会員・非会員等についてのお問い合わせは本協会事業部(TEL 03-5972-1983、eメール:mail@jp-taikushisetsu.or.jp)へお願いいたします。

都道府県体育施設協会長  
特 別 会 員 殿  
関 係 者

公益財団法人日本体育施設協会  
会 長 大 東 和 美  
(会長印省略)

スポーツ救急手当講習会プロバイダー  
【熱中症・感染防止（環境障害）コース】の開催について

今般、下記要項により、標記講習会を開催いたします。

つきましては、受講参加者には格別のご配慮をいただきたくお願い申し上げます。

記

1. 趣 旨 体育・スポーツ施設の管理者及び指導者は、施設利用者の事故等の緊急時に直面することも多く、その事態に迅速かつ的確に対応するためには、AEDの設置、適切な管理運用、緊急連絡体制の構築等に加え、事故に対し適切な救命活動を行える人材の育成や配置が重要な課題となっています。公認トレーニング指導士養成講習会の「スポーツ救急手当講習会基礎コース」ではCPR&AEDの取扱いを含む基本的な内容を学びますが、今回は講習会最終日の午後に「スポーツ救急手当講習会プロバイダー熱中症・感染防止（環境障害）コース」を開催します。

このコースは、基礎コースには含まれない熱中症対策や感染症対策に特化した内容が中心ですので、一定の頻度で熱中症等の現場に遭遇する可能性が高いと考えられる施設関係者の方、あるいは、熱中症対策・感染症対策の習得に意欲のある方には、ぜひ併せての受講をご案内します。

なお、このコースは任意の講習会ですので別途受講申込みの手続きが必要です。

詳しくは下記7、8をご確認いただき、期間内にお手続きください。

2. 主 催 公益財団法人日本体育施設協会

3. 日 時 2019年8月2日（金）12：30～16：30

4. 受 講 料 8,100円

5. 会 場 国立スポーツ科学センター（研修室）

東京都北区西が丘3-15-1

（都営地下鉄三田線 本蓮沼駅下車徒歩10分、JR 埼京線・京浜東北線・宇都宮線・高崎線 赤羽駅下車→赤羽駅西口よりバス15分 ①4番乗車「池袋」行き・「日大病院」行き→国立西が丘競技場北門下車徒歩5分 ②5番乗車「トンネル

經由赤羽車庫」行き→国立西が丘競技場下車徒歩3分)

6. 講習内容 スポーツ救急手当講習会プロバイダー熱中症・感染防止（環境障害）コース

①受講資格：スポーツ救急手当講習会基礎コース修了者、消防及び日赤救命資格等保有者

②内 容：熱中症対策（熱中症概論 発症メカニズム 主要な病態・症状・手当 暑さ指数の意味と測定 適切な水分補給の仕方 適切な空調の運用）及び感染症対策（施設における感染症 消毒・殺菌のあり方）

③定 員：80名（催行最少人員：20名、ただし20名に満たない場合は開催を中止する場合があります。）

7. 申込期間 2019年6月3日（月）～6月10日（月）午前中必着

8. 申込方法

(1) 必要な手続

- ① 第53回公認トレーニング指導士養成講習会の申込みに続き、本協会ホームページ ([https://www2.jp-taiikushisetsu.jp/guidance/guidance\\_train](https://www2.jp-taiikushisetsu.jp/guidance/guidance_train)) よりお申込みください。申し込みが完了した方には、メールにてご案内いたしますので、必ずご確認ください。
- ② 受講料を2019年6月18日（火）まで（必着）に下記へお振込みください。第53回公認トレーニング指導士養成講習会と併せてお申込みの方は、受講料・受験料と併せて納入してください。振込名が本人名義でない場合は、事前にメール ([mail@jp-taiikushisetsu.or.jp](mailto:mail@jp-taiikushisetsu.or.jp)) もしくは FAX にて必ずご連絡ください。なお、棄権される場合は必ず本協会にご連絡ください。

【振込先】

銀行名：三井住友銀行【銀行コード 0009】

支店名：麴町（コウジマチ）支店【支店コード 218】

預金種別：普通預金

口座番号：2890859

口座名義：公益財団法人日本体育施設協会

口座名義カナ：コウエキザイダンホウジンニホンタイイクシセツキョウカイ

- ③ 納入された受講料は返金いたしません。

9. その他

- (1) 本コースの詳細は、本協会ホームページ（URL：<http://www.tokio-tes.com/tsk>）でもご覧になれます。
- (2) 受講申し込みにあたり提供いただく個人情報は、本講習会の運営・管理及び諸連絡に使用いたします。また、本協会は本講習会における受講管理の一部を業務委託します。業務委託にあたり、個人情報の取扱いには厳重に管理し、本協会の事業目的以外には使用せず、ご本人の同意無しに第三者に開示・提供することはありません。

10. お問合せ先

公益財団法人日本体育施設協会 講習会運営事務局

〈株式会社イーシーオー〉 E-mail [info@tokio-tes.com](mailto:info@tokio-tes.com)

TEL 050-3776-5712 FAX 048-662-7522

〒331-0823 埼玉県さいたま市北区日進町3-505

アクロプレスページ1 702

スポーツ救急手当熱中症・感染防止（環境障害）コース プログラム

プログラム

No.	項 目	内 容	時間 (分)
1	プログラムの目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設における環境障害の範囲・対象</li> <li>・施設管理・活動指導の責任</li> </ul>	10
2	熱中症	<ul style="list-style-type: none"> <li>・概説</li> <li>・症状・4つの病態と重症度</li> <li>・発生のメカニズム</li> <li>・予防の基本施設・方法（小児への配慮）</li> <li>・暑さ指数（WBGT）について</li> <li>・発症したときの対応・応急手当（実技研修）</li> </ul>	80
3	低体温症・その他の環境障害	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低体温症</li> <li>・日焼け・しもやけ（凍傷）</li> <li>・その他有害物質（ペンキ塗建て等）</li> </ul>	15
	休憩		20
4	感染症	<ul style="list-style-type: none"> <li>・概説</li> <li>・主要な形態（インフルエンザ/ノロウイルス）</li> <li>・インフルエンザについて</li> <li>・更衣室・シャワー・トイレ等の衛生管理</li> <li>・施設管理責任</li> <li>（注意の掲示・申告の義務・入場の制限等）</li> </ul>	20
5	嘔吐物処理について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノロウイルスについて</li> <li>・基本的な防止対策</li> <li>・嘔吐物処理の仕方（実技研修）</li> </ul>	80
6	まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポイントの復習 質疑・応答</li> </ul>	15
合計時間			240